官民協同の公共事業（PPP／PFI事業）の必要性

* 内閣府から事業規模１０億円以上の公共事業はPFIを検討するよう指示
* 高度成長期に構築した公共施設等の改修・改築等を多く棚上げしている
* 今後３０年位以内に棚上げしている公共施設等の改修・改築をしなければ住民サービスが低下する。
* 地方公共団体の財源不足に拍車をかける高齢化による財源の増と人口減少による税収減少
* 人口減で需要がシュリンクすることによる企業数の減少（高知県は２０４５年に半分に減少）による税収減
* 改修・改築等で起債が増大すると、破綻懸念もしくは破綻自治体になる可能性（夕張）
* 地方公共団体の人材不足（公共事業の仕様書を作るなど専門性のある人材不足）
* 地方公共団体の慢性的な人手不足（複数年契約で発注作業の軽減）
* 顧客サービス向上、原価低減などコスト管理が当たり前の民間の事業ノウハウによる効率的な公共施設等の改修・改築
* 公共施設等の改修・改築を棚上げし暮らしづらくなった地方公共団体からの住民流失

PFI事業の流れ

公共：公共施設等の改修・改築の優先順位付を行い、ピックアップする。

公共：公共事業がPFI事業となるかVFMの検討及び民間に参入の意欲があるかもしくは、参入意欲が湧くようにするにはどうしたらよいか、サインディングを行う。リスク分担もこのとき想定。

公共：PFIの体系と性能仕様を決定する

公共：公表及び事業に対しての説明会を行う

民間：公表された段階で構成メンバーを想定する

民間：構成メンバーを募り、提案書を作成

公共：プロポーザルを行い業者決定

民間：SPC（特定目的会社）を設立

公共・民間：内容を確定し契約

民間：資金調達（プロジェクトファイナンス及びプライベートファイナンス）

金融：資金調達アシスト及びシンジケート生成、公共との契約

民間：改修及び建築と維持管理

公共：契約が履行されているか管理